

モニタリング結果報告書 (令和3年度)

1. 施設概要

施設名	境川遊水地公園		
所在地	横浜市戸塚区俣野町・泉区下飯田町・藤沢市今田		
サイトURL	http://kanagawa-park.or.jp/sakaigawa/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（平成19年8月）		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会		
指定期間	H27.4.1～R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (藤沢土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
※新型コロナウイルス感染症が3項目評価（利用状況、利用者満足度、収支状況）に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。
〈評価の理由〉 コロナ禍であったが、全体の利用者数は目標値を上回り、利用状況はA評価となった。利用者の満足度は、水没した広場の清掃等を丁寧かつ速やかに行ったこと等により、S評価となった。また、収支差額は、天候に恵まれたこともあり、植物管理等に係る支出が削減され、収支状況はS評価となった。よって、3項目評価もS評価となった。このことから、新型コロナウイルス感染症が3項目評価に与えた影響は最小限なものであったと思慮される。
〈今後の対応〉 新型コロナウイルス感染症が完全に収束するまでは、密状態を回避するために当公園を利用する方も多数いるものと思慮されるため、県のガイドラインに基づき、感染防止対策の徹底を図りながら、今後も遊水地機能の保全を基本としつつ、自然・スポーツ・交流をテーマに、更なる利用拡大に努めることを期待する。
<各項目の詳細説明> ◆管理運営等の状況 提案に基づいて、自然環境の保全活用、スポーツや交流を通じた地域づくり等の事業を実施し、実績をあげた。また、遊水地として一時的に水没した有料施設の清掃・維持管理を県とともにを行い、早期の利用再開に努めた。 ◆利用状況 利用者数が目標達成率107.6%となり、A評価となった。また、有料施設については、前年度と同様に、利用を制限した期間もあったが、利用者数は約30%のプラスとなっている。 ◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が93.6%となり、S評価となった。 ◆収支状況 収支差額は前年度より大きく増加しており、収支比率が107.32%となったため、S評価となった。 ◆苦情・要望等 寄せられた苦情に対して、誠実に対応した。 ◆事故・不祥事等 路面段差等の苦情・要望はいただいたが、速やかに対応し、利用者の安全を確保した。また、適切な管理により事故の発生は無かった。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
S	A	S	S	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	月1回程度	現地を調査し、指定管理業務が適切に履行されていることを確認している。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	四半期に1回程度	県と指定管理者で打合せを行い、運営管理上の問題点等について情報共有を図った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
■遊水地機能の確保を優先に考えた管理 ○遊水地機能の確実な確保 ○河川水流入が予想される場合の利用者の安全確保 ○遊水地機能等の普及啓発	・遊水地機能を確実に確保するとともに、河川水流入が予想される場合の利用者の安全確保を実施 ・遊水地機能等の普及啓発を実施 ・河川管理実務経験者を配置するとともに、園内の利用制限の周知、工作物の事前撤去等を実施 ・小学生（団体）への遊水地の普及啓発活動を実施	提案以上の効果が確認された。
■都市の中の豊かな自然環境の保全・活用 ○大学等との協働によるビオトープの適正な保全 ○ビオトープ管理の人材育成 ○環境学習フィールドとしての利用促進	・大学等との協働により、ビオトープの適正な保全を実施。生物モニタリング調査を継続するとともに、データを蓄積し、維持管理計画へフィードバック ・専門コンサルタントやNPOへ業務委託し、管理目標や維持管理計画の見直しを実施 ・ビオトープ管理の人材育成を実施 ・環境学習フィールドとして、観察会や遊水地検定などのイベントを開催 ・自然情報を発信するとともに、環境学習展示を実施	提案以上の効果が確認された。
■利用者ニーズの開拓によるスポーツ施設の利用促進 ○健康・レクリエーション型スポーツメニューの提供 ○スポーツ施設の快適な利用環境の整備 ○新たな利用者向けの情報発信の充実	・パークヨガ in 境川遊水地公園を開催 ・環境に優しい維持管理を行うとともに、迅速な復旧等によるスポーツ施設の快適な利用環境を整備 ・新たな利用者向けの情報発信を充実させるため、自然情報等の発信を積極的に実施	提案以上の効果が確認された。
■県の「未病を治すかながわ宣言」に賛同した取組	・公園の施設を活かした健康づくりに係るイベントを開催するとともに、自治体主催の健康づくり事業に係る情報を発信	提案以上の効果が確認された。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
温水シャワー	新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ施設の利用を一時休止したため、温水シャワーの利用も、前年度と同様に低い水準となった。
カレンダー事業	県立都市公園のPRを行った。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
A	

	前々年度	前年度	令和3年度
利用者数※	290,732	322,062	316,363
対前年度比		110.8%	98.2%
目標値	274,400	284,200	294,000
目標達成率	106.0%	113.3%	107.6%

目標値の設定根拠： 事業計画書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 施設利用者数及び目視の計数より推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和3年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	本報告書では、県による休日3回、平日3回の計6回調査の結果を使用する。 指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に満足度が高かった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 110 / 118 = 93.2%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	81	22	6	1	0	110	
回答率	73.6%	20.0%	5.5%	0.9%	0.0%		
前年度の回答数	118	29	1	2	1	151	
前年度回答率	78.1%	19.2%	0.7%	1.3%	0.7%		
回答率の対前年度比	94.2%	104.1%	823.6%	68.6%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和3年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	108,243	0	1,377	自販機：1,377	109,620	109,620	0	
	決算	108,243	0	2,363	自販機：2,363	110,606	102,608	7,998	107.80%
前年度	当初予算	138,413	0	1,377	自販機：1,377	139,790	139,790	0	
	決算	138,413	0	4,635	自販機：3,508 雇用調整助成金：1,127	143,048	138,160	4,888	103.54%
令和3年度	当初予算	138,460	0	1,377	自販機：1,377	139,837	139,837	0	
	決算	138,460	0	2,961	自販機：2,961	141,421	131,769	9,652	107.32%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和3年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和3年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	口頭	1 件	鷺舞橋の路面に段差があり、危険である。	応急的に、カラーコーンで注意喚起を図り、後日、舗装の補修工事を実施した。
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他	口頭	1 件	公園（遊水地）湛水後の土砂撤去の際に、土埃が舞い、近隣住宅まで飛散している。	散水を行い、土砂は溜め置きせず、当日に撤去することとした。
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。